

## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 3 - 38)

<b>件名</b>	せん断機・溶解槽保守セル内におけるクレーンの干渉						
<b>事象の概要</b> (1) 発生場所: 機器 (2) 発生の状況 (3) 概要	前処理建屋: クレーン  クレーンの保守点検作業中  保守セル内に設置されている2基のクレーンの走行中における一方のプリーケースともう一方のケーブルリールの干渉  * 他の建屋も含め同種の機器においても、同様な事象の発生が予想される。						
<b>事象による影響</b> (1) 工場外への影響 (2) 安全性への影響 (3) 作業員への影響 (4) 他工程への影響	<b>工場外への影響は生じない。</b> 前処理建屋換気設備が稼働しているセル内での事象及びそれに伴う復旧作業なので、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。  <b>安全上の問題は生じない。</b> 両クレーンの運転は停止するが、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。  <b>作業員への影響は生じない。</b> セル内クレーンの復旧作業は、セル外からの遠隔作業なので作業員への影響は生じない。  <b>他工程への影響は生じない。</b> クレーンは保守作業に必要な設備であり、2基のクレーンの接触が直ちに他の工程の運転に影響は生じない。						
<b>対応の概要</b>	(1) 両クレーンの運転を停止する。 (2) 原因を調査し、定められた保守作業手順に従って復旧作業を実施する。復旧後、両クレーンが正常に作動することを確認し、点検、保守作業を再開する。						
<b>公表区分</b>	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)						
<b>対応区分</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">                 国際評価尺度 (INES) のレベル                  日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>                  (レベル2以下は工場外への影響はない)                  放射能物質の外部放出                  放射能物質による汚染、被ばく等                  運転制限範囲からの逸脱等                  多重防護の劣化             </td> </tr> <tr> <td>(b) 運転システムを切り替えて復旧</td> </tr> <tr> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> </table>	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> (レベル2以下は工場外への影響はない) 放射能物質の外部放出 放射能物質による汚染、被ばく等 運転制限範囲からの逸脱等 多重防護の劣化	(b) 運転システムを切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止
(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> (レベル2以下は工場外への影響はない) 放射能物質の外部放出 放射能物質による汚染、被ばく等 運転制限範囲からの逸脱等 多重防護の劣化						
(b) 運転システムを切り替えて復旧							
(c) 当該機器を停止して復旧							
(d) 当該設備を停止して復旧							
(e) 影響範囲の設備を停止							

本事象は当該機器停止時の保守作業中に発生したもので対応区分該当なし。

### 事象概要

